

「学校教育目標」と「令和5年度重点目標」について

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度重点目標「岸野の良さを実感し、友や保護者、地域の方々と一緒に、心身共に豊かな生活を自ら創り出していく児童の育成 ～多様性を認め合い、自律した子どもを育てる～」

教育の指針

わか竹の伸びゆくごとく
子どもらよ
眞すぐにのばせ
身をたましひを

子どもの実態

- ・興味や関心のあることに自分から係わって学ぼうとする意欲がある。
- ・必要以上に周りが気になり、自分から主体的に取り組むことを避ける。
- ・適切な人との関係を築く経験が少ない。

佐久市の教育のめざす姿
「生涯にわたり主体的・創造的学び、生きる力を育む人づくり、まちづくり」
めざす子ども像
「自ら考え、夢と志をもって、ともに未来を拓く子ども」

自律し、主体的に考え、行動し、学ぶ子ども達に育ててほしいという願い。
周りの誰とでも良好な関係を築き、失敗を恐れずに取組み、学びつづけていくことが、将来にわたって、その子（人）らしい生き方ができるのではないかと、そしてそうすることが社会を支える一員となっていくのではないかと。

き

「健やかな体」「き」：気持ちで負けない
「毎日短時間で体を動かす」の活用
「運動を通して体力作り」「すくすくたいむ」の活用
「安全教育や衛生教育の充実による健康の維持」の活用
「朝マラソンの励行」の活用



し

「資質・能力の育成」「し」：失敗をおそれない
「自分の分からないに焦点を当てて、友と一緒に解決」の育成
「物事に関心をもち、「なぜ」や「どうして」等の自ら問いを持つことができる」の育成
「自分から問いを解決するためのプロセスを考え、友と協働的に解決に向けて、諦めず取り組むことができる」の育成
「正しい言語の理解能力の育成」の育成



の

「豊かな心」「の」：望みを持ち続ける
「優しい言葉で話をしよう」の育成
「自ら進んで挨拶ができる人間関係の育成」の育成
「豊かな体験活動を通しての創造性の涵養」の育成
「傾聴の心を持って人の話を聴く力の育成」の育成
「多くの人との関わりを通しての人權意識の育成」の育成



どんな力が身につくのか
・学んだことを生かして、新たな課題を主体的に解決しようとする。
・多様な他者を通して、よりよい解決の糸口を探そうとする。
・自らの考えを深めたり、広めたり、修正したりしてよりよいものを追究しようとする。
・将来にわたって自らを成長させようとする資質や能力が身につく



具体的な取組

- ・児童がつくり出す行事や活動の創造と主体的な学びをつくり出す生活科や総合的な学習の時間の確保
- ・学級、学年を超えて掛かり合う時間と人間関係づくり
- ・図書館の蔵書やICTの利用や、現地へ出かけていっての調査学習等、体験的な学びの重視、毎日の短時間の読書

子ども達の成長をどのように支援するか

- ・児童がやってみたいと思う課題を通しての学習活動の推進
- ・やわらかい結びつきを基盤とする学級づくり
- ・保護者や地域の方々との連携した社会とつながる学習
- ・ルールや規律を守ることへの適切な指導
- ・将来につながる希望や願いの醸成のための具体的な方法や筋道を考える場を持つこと